

第47回 プロテオーム医療創薬研究会

【実施日】 2013年9月16日(月) 9:45~17:00

【会場】 パシフィコ横浜 メインホール及び301号室

【来場者】 約300名

【内容】

演題：「The Evolution of Technology in Proteomics」

講師： Ruedi Aebersold 教授(Swiss)
Amos Bairoch 博士(Swiss)
Brigitte Wittmann-Liebold 教授(Germany)
Shabaz Mohammed 教授(UK)
Yu-Ju Chen 博士(Taiwan)
Andrew H.-J. Wang 博士(Taiwan)
Ray Owens 教授(UK)

発表要旨：平成25年9月14日~18日に横浜市のパシフィコ横浜においてヒトプロテオーム機構第12回国際会議が開催された。海外から多くの優れたプロテオミクス研究者が参加した。これを利用して、イノベーションシステム整備事業の翻訳後修飾プロテオミクス医療に関わる研究に携わる下記の研究者から世界の研究動向に関する情報を提供していただいた。

Ruedi Aebersold 教授(Swiss)：新しい質量分析技術の研究動向

Amos Bairoch 博士(Swiss)：プロテオームインフォーマティクスの研究動向

Brigitte Wittmann-Liebold 教授(Germany)：電気泳動技術の研究動向

Shabaz Mohammed 教授(UK)：翻訳後修飾（リン酸化）プロテオミクスの研究動向

Yu-Ju Chen 博士(Taiwan)：翻訳後修飾（リン酸化）プロテオミクスの研究動向

Andrew H.-J. Wang 博士(Taiwan)：翻訳後修飾によるタンパク質構造変化

Ray Owens 教授(UK)：翻訳後修飾によるタンパク質構造変化

また、イノベーションシステム整備事業分担研究者の1人、緒方一博教授は、翻訳後修飾によるタンパク質構造変化に関する研究結果について話題提供し、海外からの研究者と議論を深めた。